



2019年6月4日

各 位

会社名 泉州電業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 西村 元秀
 (コード9824 東証第一部)

問合せ先

専務取締役兼執行役員管理本部長 宮石 忍
 (TEL 06-6384-1101)

業績予想の修正、剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年3月4日に公表した2019年10月期の業績予想を、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

また、2019年6月4日開催の取締役会において、下記のとおり2019年4月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）を決議するとともに、2019年10月期の期末配当予想を修正いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

1. 業績予想の修正について

(1) 通期の連結業績予想数値の修正（2018年11月1日～2019年10月31日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	85,000	4,120	4,280	2,860	291.69
今回修正予想 (B)	85,000	4,240	4,400	2,950	304.98
増減額 (B-A)	0	120	120	90	—
増減率 (%)	0	2.9	2.8	3.1	—
(参考) 前期実績 (2018年10月期)	82,038	3,868	4,105	2,371	236.36

(注) 当社は2019年6月4日開催の取締役会において、自己株式の取得について決議いたしました。

上記の「今回修正予想 (B)」における「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式の取得の影響を考慮しております。

なお、詳細につきましては、本日（2019年6月4日）公表いたしました「自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ」をご覧ください。

(2) 通期の個別業績予想数値の修正（2018年11月1日～2019年10月31日）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	79,300	3,990	2,670	272.31
今回修正予想 (B)	79,300	4,090	2,740	283.27
増減額 (B-A)	0	100	70	—
増減率 (%)	0	2.5	2.6	—
(参考) 前期実績 (2018年10月期)	77,131	3,844	2,204	219.74

(注) 当社は2019年6月4日開催の取締役会において、自己株式の取得について決議いたしました。

上記の「今回修正予想 (B)」における「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式の取得の影響を考慮しております。

なお、詳細につきましては、本日（2019年6月4日）公表いたしました「自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ」をご覧ください。

(3) 修正の理由

第2四半期連結累計期間の業績は、電線の主材料である銅価格の下落による販売価格の低下に伴い売上高は期初予想をやや下回りましたが、民間設備投資向け電線の需要が底堅く推移し、建設需要も堅調に推移したことにより、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益及び1株当たり当期純利益が予想を上回りました。

通期業績予想につきましても、第2四半期連結累計期間の業績が予想を上回ったことに加え、第3四半期及び第4四半期の利益予算の見直しを行ったため、それぞれ前回発表予想から上記のとおり修正いたします。

2. 剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正について

(1) 剰余金の配当（中間配当）の内容

	決 定 額	直近の配当予想 (2019年3月4日公表)	前期実績 (2018年10月期 中間)
基 準 日	2019年4月30日	同左	2018年4月30日
1株当たり配当金	35円00銭 (普通配当 30円00銭) (記念配当 5円00銭)	30円00銭	25円00銭
配当金総額	343百万円	—	250百万円
効力発生日	2019年7月2日	—	2018年7月3日
配 当 原 資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 期末配当予想の修正の内容

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回発表予想 (2019年3月4日)	30円00銭	30円00銭	60円00銭
今回修正予想		35円00銭 (普通配当 30円00銭) (記念配当 5円00銭)	70円00銭
当 期 実 績	35円00銭 (普通配当 30円00銭) (記念配当 5円00銭)		
前 期 実 績 (2018年10月期)	25円00銭	30円00銭	55円00銭

(3) 修正の理由

当社は、安定的な配当を維持することを基本方針として、連結業績、内部留保の水準等を考慮し、総合的に利益配分を判断しております。

また、当社は2019年11月18日に設立70周年を迎えることとなりました。これもひとえに、株主の皆様、お客様、お取引先様をはじめとした多くの関係者の皆様からの長年に亘るご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

つきましては、株主の皆様へ感謝の意を表すとともに、設立70周年を記念いたしまして、2019年10月期の中間配当は、普通配当30円に、記念配当5円を加え、1株当たり35円とさせていただきますと存じます。

なお、期末配当予想につきましても、同様に設立70周年の記念配当として5円増配し、上記のとおり1株当たり35円とさせていただきますと存じます。これにより、2019年10月期の年間配当予想は、1株当たり70円となります。

(注) 上記の予想につきましては、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績及び配当は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。